
スマプラメンバーがミニゲーム勝負をするようです

紀葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラメンバーがミニゲーム勝負をするようです

【EZコード】

Z5565Y

【作者名】

紀葉

【あらすじ】

スマブラメンバーがマリオパーティのミニゲームで勝負をする!
キャラ崩壊につきご注意ください。

プロローグ的な何か（前書き）

DX以降のキャラは出ません。

プロローグ的な何か

「」はスマブラ館。

スマブラメンバーは「」で暮らしている。

今いるのは64メンバー、いわゆる初代組である。

乱闘に飽きたのか、暇そつとしている。

マスター「暇だ。」

マリオ「地の文見ればわかる。」

リンク「なんかないのか?マスター。」

マスター「」ちが聞きたいよ…。」

カービィ「ダメな奴だな。」

ピカチュウ「創造神のクセ」。」

マスター「あんひどい…。」

マリオ「あ、そうだ。」

ピカチュウ「なんかあるのか?マリオ。」

マリオ「マリオパーティーしないか?スマブラメンバーで。」

リンク「おお、いいなそれ。」

カービィ「ナイスアイデア…さすがマリオ…」

マスター「それはダメだ。」

4人「!？」

マスター「長くなるから。」

カービィ「じゃあどうしようと?」

マスター「!!」「ゲーム勝負ならおく。」

マリオ「なるほど。」

リンク「よし、じゃあみんなを呼んでくる。」

数分後。

マスター「よく來たなー。」

ドンキー「マリパの!!」「ゲームで勝負するんだよな?」

ピッキー「どうせマリオさんの一人勝ちですよ。」

ルイージ「いやどうかな?運にもよ」

ピッキー「ハア?」

ルイージ「…」めんなんでもない。」

サムス「ていうかマリパつて4人用のゲームつて聞いたんだけど。」

フォックス「そういえば…12人いるけどどうするんだ?」

マスター「3人1チームにするから大丈夫。」

プリン「チーム戦かあ…楽しそう」

ネス「チームはどうやって決めるの?」

ファルコン「ハハハ、確かにな」

マスター「もう作者が決めたらしい。」

12人「!?

マスター「じゃあチーム発表。」

Aチーム

マリオ

カービィ

ピカチュウ

Bチーム

ドンキ

リンク

フォックス

Cチーム

ヨッシー

サムス
プリン

Dチーム
ルイージ
ネス
ファルコン

マスター「以上！」

マリオ「カービィとピカチュウか、頑張りつぜー！」

カービィ「マリオがチームメイトかあ…頼もしいなあ！」

ピカチュウ「オレがいることも忘れるなよー！」

ドンキー「まあ気楽に行こ」うぜ。」

リンク「これどうじう人選なんだ…。」

フォックス「さあ…。」

ヨッシー「とりあえず2位にはなれるようにしてしましちゃう。」

サムス「消極的ね。」

プリン「どうせなら1位田指そーー！」

ルイージ「…うん、頑張ろう。2人共。」

ネス「なんか不安だなあ……。」

ファルコン「ハハハハ」

マスター「それじゃあ行くぞ！」

全員「オオー！」

プロローグ的な何か（後書き）

カービィ「そういえば賞品とかあるの？」
マスター「考えておく。あまり期待するなよ。」

キャラ紹介（前書き）

壊れすぎた。マジで。

キャラ紹介

マリオ

言わずと知れたスーパースター。男。
勇敢でかつこいい。まさにヒーロー。
なんでもできちゃう超人的な人。

ドンキー コング

ジャン格尔の王者なゴリラ。男。
馬鹿だけど仲間想いの良い奴。
ちなみに作者の1番のお気に入り。

リンク

ハイラルの勇者。男。
真面目。とりあえず真面目。
メンバー屈指の常識人。

サムス・アラン

バウンティーハンター。女。

クールな姉御タイプ。根は優しい。
可愛いものが好きだつたりする。

ヨッシー

マリオの相棒の恐竜。男。

礼儀正しいように見えてかなり腹黒い。
マリオを超尊敬している。

カービィ

星の戦士。男。

子供っぽくはない。ちょっと毒舌。

ヨツシーほどじゃないがマリオを尊敬している。

フォックス・マクラウド

スター・フォックスのリーダー。男。
真面目だが、お金にかなり厳しい。
実際作者が一番よくわからんキャラ。

ピカチュウ

ねずみポケモン。男。

なんか不良っぽい。口が悪い。
触るとビリビリするので注意。

ルイージ

マリオの弟。男。

兄と違つて臆病。だから2番手なんだよ。
かなり地味。存在に気づかれないことも。

プリン

ふうせんポケモン。女。

ほわほわしてるドジっ子。ちょっと天然。
寝る時に近くにいると危険。

キヤブテン・ファルコン

F-ZEROレーサー。男。

熱血。とにかく暑苦しい。
しゃべり方が若干うざい。

ネス

P.S.Iを持つ少年。男。

まっすぐな性格。芯が強い。

PICOをちゃんと有効活用している。

マスター・ハンド

スマートの世界の創造神。性別不明。

自由人。暇だと騒ぐ日が多い。

見た目は右軍手。

キャラ紹介（後書き）

次から本編です。

始まりますた（前書き）

ドンキー「細かいルールはどうなってるんだ？」
マスター「よしわかつた。説明しよう。」

始まります

細かいルール

- ・1つのミニゲームに1人が出場する。
- ・出場する順番は

1

マリオ、ドンキー、ヨッシー、ルイージ

2

カービィ、リンク、サムス、ファルコン

3

ピカチュウ、フォックス、プリン、ネス

4回目以降は繰り返し。

・マリパ2のミニゲームをすべてやり、勝った回数が多いチームが勝ち。

マスター「わかつたか？」

ドンキー「質問、なんでマリパ2なんだ？」

マスター「作者が好きだからだ。」

ドンキー「把握。」

ヨッシー「質問、2対2とかの時チームはどいつもって決めるんですか？」

マスター「作者が適当に決める。」

ヨッシー「さいですか。」

マスター「もう質問ないな?」じゃあさっそく最初の――「ゲームだ!」

パンチでアタック（4人用）

ドンカクの上で戦い、相手を全員落とせば勝ち。

「ドンキー」「やるしかないな…。」

ヨツシ一「ボチボチ行きますか。」

ルイージ「勝てるわけないよ。」

START!

ヨツ シーがドンキーにパンチを繰り出した！

「...」ハサヒ「...」

間一髪避けるドンキー。

ドンキー「なんで俺狙うんだ！」

ヨッシー「マリオさんには勝てないですし、ルイージさんはどうせすぐ倒せます。ならドンキーさんを狙うしかないじゃないですか。」

「なにがうかうかへんかい？」**カーナー**が尋ねた。

「アシサー、アリスアリスー。」

一方、置いてけぼりの2人は…。

ルイージー。
」ズーン

マリオ ルイージ 戦おつぱん

ルイージー ヨッシーに雑魚扱いされた… 悲しい…。」「

マリオ・ルイーズ

「そのとおり、ハングルが動いた！」

ルイージ「アッー！！」

マリオ「ルイージ...」

一方、戦っている2人は…。

「ディンキー」「フタエノキワニ」、アッター。

ドゴオツー！

ミラシ一「ひでふり...」

ドンキーのパンチがコッキーにクリーンヒット！
そのままコッキーは落ちてしまった！

マジサー「おづあああーー。」

「…あー、マリオが残っちゃった…。」

マリオ「…来い！」

ドンキーはマリオに向かつて突進した！

マツオ「おつと。」

マリオは避けた。

「アキラ」

勢い余つてドンキーは飛び出した。
そして落ちた。

FINISH!

MARIO WON!

マコ「やつたぜー！」

ピカチュウ「さすがマリオだな。」

カービィ「そこに痺れる！憧れるう！」

マスター「Aチーム1勝目だな。よし、次のミニゲームだ！」

なわなわピヨンピヨン（4人用）
1列に連なったボブルで縄跳びをする。ボブルに当たるとリタイア。
最後まで残れば勝ち。

カービィ「マリオに続くぞ！」

リンク「できるかな……？」

サムス「簡単そうね。」（ちなみにゼロスーシ姿。）

ファルコン「ハハハハ」

START!

全員飛び始めた。

すると3回目で早くも！

ジュッ

ファルコン「ハーーー！」

ファルコン以外「早つ！」

その後、20回ぐらいの時に…。

ジュッ

カービィ「熱ううう！」

カービィリタイア。
リンクとサムスの一騎打ちとなつた。

リンク（そろそろキツい…。）

サムス（まだ余裕ね。）

そして30回目で…

ジユッ

リンク「なあああ！」

FINISH!
SAMUS WON!

サムス「だらしないわね…。」

プリン「サムスかっこいい！」

ヨッシー「やりますね…。」

マスター「じチーム1勝目。よし、次行くぞー。」

ドッカンせんしゃ（4人用）

戦車に乗り、大砲で弾を撃ち、相手に当てる。体力は2。全員倒せば勝ち。ちなみに土管の数は1個。

ピカチュウ「オレの力を見せてやるー！」

フォックス「負けられないな…！」

プリン「頑張るよー！」

ネス「緊張するなあ…。」

START！

フォックス「とりやー！」

フォックスはネスに弾を撃つた！

ネス「ぐふうー！」

クリーンヒット！

ネス「やつたなー！」

ネスも弾を撃つた！

フォックス「おつとー！」

フォックスはギリギリ避けた。

プリン「えいー！」

プリンも弾をフォックスに撃つた！

フォックス「そおい！」

フォックスは避けながらプリンに弾を撃つた！

プリン「キャッ！？」

もう戻らった。

ピカチュウ「おらあ！」

ピカチュウも撃つた。もちろん標的はフォックス。

フォックス「当たらなければどうという」とはない！」

と言いながら、避けながら、撃つた。

ピカチュウ「そげぶう！」

やっぱり当たり。

その後、なんやかんやあって…。

全員「省略すんな！」

サーベン『

最後にはフォックスが残つた。

FINISH！

FOX WON！

フォックス「よっしゃあ！」

ドンキー「すげー！」

リンク「スター・フォックスのリーダーなだけあるな…。」

マスター「Bチーム1勝目。よーし、次だー！」

始まりますた（後書き）

一発ネタコーナー。

マリオ「あなたも私も ZEET 「

マリオワールドのタイトル曲（の意味）です。

運ゲー多し（前書き）

運ゲーに近いものが今回多いです。

運ゲー多し

5キノピオブロック（4人用）
回転するブロックを止めて、キノピオを出す。先に5回出せば勝ち。
また、キノピオ以外を出すとタイムロス。

マリオ「これ運だからな…。」

デンキー「ミスしなことないようにしなこと…。」

ミッキー「勝機はある…。」

ルイージ「うーん…。」

START!

マリオ「てやつー。」

デンキー「おひりあー。」

ミッキー「よこしょあー。」

ルイージ「ホワチャアー！」

全員同時に押した。

全員キノピオだった。

全員「そおー。」

全員キノピオ。

全嘗「おつやめー。」

また全員キノピオ。

マリオ「でもあー！」

「アーネスト・ホーリー」

三ノ山一・二・三

川口市・どおりへ!

ルイージ以外はキノビオ。ルイージはミニクッパ。

ルイージ「ぐはあつ！」

マリオ ちよ
W

アーティスト

ミシタセテ

ルイージ「（ ； ； ； ）」

ルイージ戦意喪失。

マリオ「ん、ん、ん、ん！」

ドンキー「そいやあーー。」

ミッキー「うひじょおおーー。」

マリオ、パックン。

ドンキー、ワンワン。

ヨッシー、キノピオ。

マリオ「んはあーー。」

ドンキー「おおうーー。」

ミッキー「（。。）カーチャッター。」

FINISH!
YOSHİ WOZ!

ヨッシー「頭がバーン」となりまして。もうホントビックリしたー。」

サムス「すいにわねー。」

プリン「ばんざーー。」

マスター「1つから数えないよつにじよつ。はい次。」

ゼンまいヘイホーレース（4人用）

ゼンまいヘイホーのゼンまいを10秒間巻き、遠くに飛ばす。1番遠くに飛ばした人の勝ち。

カービイ「絶対勝つ！」

[リンク「今度こそ…！」](#)

サムス「連勝してやるわ。」

「ハーハハハハハ

**S
T
A
R
T
!**

一晩に翻訳始めた

カービイー ちやああああ！」

サムズ一はああああああ！

ブルーン・GAY

10秒たつた

カリビイ「行けえ！」

リンク一飛べ!

サムス「行きなさい！」

「ゴー！」

ヘイホーが飛んだ。

20m地点で…。

ポトッ

サムス「ああー!?」

サムスのが落ちた。
続いて25m地点で…。

ポトッ

ファルコン「オーマイガッ!」

ファルコンのも落ちた。

カービィ「もつと熱くなれよおおー!」

リンク「飛べえええー飛ぶんだあああー!」

そして、30m地点で…。

ポトッ

リンク「…(。。。)」

リンクのが落ちた。

カービィのはまだ飛び続けている。

カービィ「まだ行ける…まだ行けるやー!」

ポトツ

落ちたのは53m地点。

FINISH!

NEW RECORD!

KIRBY WON!

カービィ「イヒヒヒ！」

マリオ「すごいな…新記録なんて…。」

ピカチュウ「テラチートwww」

マスター「Dチームもつと頑張れよ。次行つてみよ。」

カウンント1・2・3（4人用）

ステージのキャラクターを数える。ピッタリ数を当てた人が勝ち。
今回のキャラクターはキノピオ。

ピカチュウ「楽勝だろ。」

フォックス「簡単そうだなあ。」

プリン「数え間違えちゃ いそつ…。」

ネス「余裕だね！」

START！

ピカチュウ「123…ん? あれはキノコか…。」

フォックス「1234…あれ? 1回数えたか?」

プリン「123…あ、あれ? えつ?」

ネス「12345…」

ピカチュウ、フォックス、プリンはてこずっているが、ネスは余裕
そうだ。

そして制限時間が過ぎた。

ピカチュウ：16

フォックス：17

プリン：14

ネス：19

正解は…

19!

FINISH!

NES S WON!

ネス「やつたあああ!」

ルイージ「やつと勝てた…。」

ファルコン「やつたな」

マスター「やつと一勝田だぞ、ロチーム。次行くぜー。」

のぼりでマスト（4人用）
沈みそうな船のマストをのぼり、一番最初にマストのてっぺんに着いた人の勝ち。

マリオ「ちょっと不安だな。。。」

ドンキー「これ得意だぜー。」

ミッキー「これ苦手なんですね。。。」

ルイージ「どうせ僕は負けるんだろな。。。」

START！

全員のぼり始めた。

ドンキー「へー」

余裕なドンキー。

ヨッシー「ぬぬぬぬ。。。」

対照的に、ヨッシーはでこぼこしている。
と、ここー

バシャーン！

マリオ「うわー。」

ドンキー「ねつじ。」

ミッキー「ギャツー！」

ルイージ「あべしつー！」

ドンキーは避けたが、ドンキー以外にブクブクが当たった。
そのままドンキーがスイスイのぼっていき、てっぺんに着いた。

FINISH!

DONKEY WON!

ドンキー「よしつー！」

リンク「早かつたな……。」

フォックス「さすが猿つてことか……。」

マスター「得意分野はやりやすこよな。次だぜー。」

運ゲー多し（後書き）

一発ネタ「一ナ一。
ドンキー「デュクシwwwアイテテwww」

本氣出した（前書き）

何人が本氣を出すようですね。

本気出した

あおぞらプレートレース（4人用）
浮かんでいるプレートを渡つていき、ゴールを目指す。一番最初に
着いた人が勝ち。

カービィ「いけるかも…。」

リンク「ちょっと不利だな俺…。」

サムス「私は有利かもね。」

ファルコン「フウーハハハ」

START!

ギュン！

ファルコン以外「！？」

なんと、ファルコンがものすごいスピードでプレートを渡つている…

カービィ「超スピード！？」

リンク「はええええ！」

サムス「勝てないでしょこれ…。」

あつという間にファルコンゴール。

FINISH!

FALCON WON!

「 ファルコン 「 勝つたぜ 」

ルイージ「何あれ？」

ネス「早すぎワロタwww」

マスター ファルコンバネ W W 次行くぜ W W

ヒップでドン！（4人用）
トーテムポールの上でヒップドロップし、一番最初に全部沈めた人の勝ち。

アオツケスーピツナドロツブガ...」

プリンー私これ不利だ……」

ネスー勝てるかな？」

**S
T
A
R
T
!**

全員ジャンプ!

ピカチュウ「どりやああああああ！」

ピカチュウは全身の力を込めてトーテムポールにぶつかった！

ズズーン！

ピカチュウ以外「！？」

半分くらい沈んだ。

フォックスとネスのは5分の1くらい沈んでいるが、プリンのはほとんど沈んでない。

ピカチュウ「もういつちょおおおおお！」

ズズーン！

完全に沈んだ。

ピカチュウ以外「（。。）」

FINISH！

PIKACHU WON！

ピカチュウ「ぜえ…ぜえ…。」

マリオ「すげー疲れてんじゃねーか！」

カービィ「無茶しやがって…。」

マスター「気合い入つてたな。次も気合い入れて行くぜ！」

のつかれボール（4人用）

ボールの上に乗つて、落しあいをする。最後まで残っていた人の勝ち。

マリオ「これ決着つきにへいんだよな…。」

ドンキー「このゲームでも勝つぜー。」

ピッシー「できれば引き分けにしたいのです。」

ルイージ「引き分けぐらーには…。」

START!

ピッシー「うおおおおーー。」

ドンキー「ぬおおおおーー。」

バーン!

ドンキーとピッシーがぶつかった。
2人とも落ちそうにない。

マリオ「待て！ルイージー！」

ルイージ「こっち来ないでーー！」

マリオはルイージを追いかけている。

ドンキー「おんどりやあああーー。」

ヨッシー「どうじょおおおーー！」

マリオ「待てーー！」

ルイージ「いやーー！」

全然誰も落ちず

そのまま時間がすぎていき…
ゲーム終了。

FINISH！

DRAW！

4人「！？」

マスター「ホントに決着つかなかつたな。まあいいや、次！」

ぷかぷかアイランド（4人用）

奥のクッパ戦艦が大砲を撃つてくる。それをよけ続けて、最後まで残つた人の勝ち。

カービィ「避けゲーですね、わかります。」

リンク「勝つぞ！今度こそ！」

サムス「避けるだけなのね…。」

ファルコン「ハーツハハハハ

START！

クツバ戦艦から弾が撃たれた！

カービイ「当たらぬS」

ゴーン！

カービイ「はうあ！？」

リンク「うわわ！？」

サムス「キヤア！？」

ブルゴン一ハハ！？

鳥に当たり、ちよこと動けなくなつた。

ファルコンに当たつた。

ファルコン「ハーツ！？」

カービイ「うひや～」。

そのあと、3人ともよけ続けていたが、

リンク「あれ?」やな感が。

カービィ「なんだあのでつかいもの…。」

クッパ戦艦の顔の部分が島のほうを向き、
巨大なキラーを発射した。

3人「！」

リンクは間一髪避けたが、
カービィとサムスに当たった。

カービィ「クソマアーーーー！」

サムス「あおおーーーー！」

FINISH!
LINK WON!

リンク「怖え～…。」

ドンキー「危なかつたな。」

フォックス「スリルあるな…あれ…。」

マスター「接戦だつたな。次行く！」

本氣出した（後書き）

一発ネタ「一ナーニ。

リンク「風神 雷神」

不正はなかった（前書き）

誰も不正なんてしてませんよ。

不正はなかつた

ノコノコじゅうじゅう（4人用）
25枚のパネルを甲羅を転がしてめくる。一番先に全部めくった人の勝ち。

ピカチュウ「今回も勝つ！」

フォックス「どうなるかな？…。」

プリン「いいとこ見せたい…。」

ネス「頑張る。うん。頑張る。」

START!

全員甲羅を転がし始めた。

フォックス「こっちに転がして…。」

ピカチュウ「あ、微妙にめくれてない…。」

ネス「おつとつと…。」

なにやら苦戦している3人。

プリン「これ楽しい」

意外にもプリンは楽しみながらやっている。

ピカチュウ「ええい！イライラする…。」

FINISH！

ピカチュウ「え？」

PURIN WON！

他の3人「！？」

プリン「わ～い、勝った！」

ミッキー「（。。。。）」

サムス「（。。）」

チームメイトの2人もびっくりしている。

マスター「（。。）…トリアエズッギ…。」

はちのすブンブンブン（4人用）

ブロックを叩き、出た数だけフルーツをとる。途中に混じっている蜂の巣をとるとリタイア。最後に残つた人の勝ち。今回コインは混じつてない。

マリオ「これも運ゲーっぽいな…。」

ドンキー「また運ゲーか

ヨッシー「数えるのはめんどくさいですからね。」

ルイージ「なんか嫌な予感がする。」

START!

マリオ「よし……どうやあー。」

出た数は2。

フルーツ2個。

マリオ「まあ最初だからな。」

ドンキー「でやあー。」

出た数は1。

フルーツ1個。

ドンキー「まだ大丈夫だな。」

ヨッシー「そりゃー！」

出た数は2。

フルーツ2個。

ヨッシー「このフルーツ食べちゃダメですかね？」

ルイージ「よしショ！」「

出た数は1。

フルーツ1個。

ルイージ「あ～怖い……。」

その後マリオが1、ドンキーが2を出した。

ミッキー「そおい！」「

出た数は2。

フルーツ2個。

ミッキー「…フツ。」「

ルイージ「あ！次蜂の巣じゃん…。」「

どうあがいても絶望。

ルイージ「…えーい。」「

出た数は2。

蜂の巣。

ルイージ「うわああああん…。」「

ルイージリタイア。

長いのでダイジェストでお送りします。

全員「ひよー」

サービス

ドンキー「うわあー！」

2。

ドンキー「あ。」

ヨッシー「ドンキーさん…恨みますよ…。」

ヨッシー、次の番で蜂の巣。リタイア。
そして…。

マリオ「どうにこしようー！」

2。

マリオ「勝つた！第三部完ー！」

ドンキー「あ…負けたあー！」

ドンキーもリタイア。

FINISH！

MARIO WON！

マリオ「やつたぜ！」

ピカチュウ「すげえなマリオ！」

カービィ「流石だね！」

マスター「マリオがべた褒めの中次行くぞー！」

いろいろダッシュ（4人用）

7色に色分けされている足場で、キノピオのあげた旗の色の足場に移動する。下のマグマに転落するとリタイア。最後に残った人の勝ち。

カービィ「足場狭くね？」

リンク「そつでもないと思つが……。」

サムス「ファルコンとは一緒に乗りたくないわ。」

ファルコン「（・・・）サムスピードス…。」

START！

キノピオは赤をあげた。

全員移動。

カービィ「はい乗った！お一人様用です！」

カービィが赤の足場に乗った。

リンク「ふざけたことをぬかすな！」

リンクもカービィの邪魔を押しのけて無理やり乗った。

カービィ「ちょ　ｗ乗んなしｗｗ」

しかしサムスとファルコンはカービィの邪魔を通り抜けられない。

サムス「ちょ…ちょっと…。」

ファルコン「れれれ冷静になれ　」

結局一人とも落ちますた。

二人「アツー！..」

え？反則じゃないのかつて？

TASさんはこんな感じにやつてましたよ。
不正はなかつた。

リンク「おま..。」

カービィ「（物理的に）潰れるのは嫌だからね。」

リンク「理由それかｗｗ」

その後、キノピオが青あげて…
白あげて…黄色あげて…

黒あげたがまだ二人は落ちない。

そして紫をあげたときー

リンク「うわー！」

リンクがこけた。

カービィ「ぐへつーー？」

巻き添えを食らうカービィ。

そして足場が沈み、

二人ともマグマへ…。

二人「あぢやああああーー！」

FINISH！

DRAW！

マスター「まさかの引き分けっていう。でっていう。次行くってい
う。」

不正はなかった（後書き）

一発ネタ「一ナ。

サムス「あんた馬鹿あ？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5565y/>

スマプラメンバーがミニゲーム勝負をするようです

2011年11月26日17時56分発行